

< 地域の産物の活用と地域と連携しての商品開発 >

団体・学校の特徴	6つの専門学科を有する総合技術高校です。地域や社会と連携・協働した学びが充実しています。総合技術高校の特性を活かし「チームで働く力を身につけた」人間性豊かな産業人材を育成しています。				
所在地（市町村名）	越谷市	会員数又は児童生徒数	615名	活動期間	37年
活動内容	総合技術高校の専門性を活かし、地域との連携・協働による「地域の産物」を活用した商品開発や、地域の産物をPRする活動をおこなっています。				



地域や社会との連携・協働

×

越谷市の主な農産物

小松菜 山東菜 ねぎ
くわい いちご



越谷総合技術高等学校

地域や社会の人的・物的資源を活用した「開かれた教育課程」を実現

小松菜スパイシーカレーの開発



越谷産の小松菜を使って誰からも愛されるメニューを開発。市内の農家で小松菜の収穫から始めました。スパイスの調合やカレーの試作では、市内レストランのシェフのアドバイスを受けました。



越谷市特別市民「ガーヤちゃん」とさいたまっちとコバトン

田んぼアートのお米の活用

「田んぼアートで収穫した米を活用できないか」と声をかけていただいたのがきっかけとなり、ポン菓子を使った菓子作りに取り組んでいます。



いちごを活用した商品開発とPR



いちごの冷製スパゲティ

越谷産農産物を使ったレシピを考案する「こしがや彩レシピ2020」では、「冷凍いちご」を使ったメニュー開発の依頼を受け、9品のメニューを開発しました。



越谷いちごPRキャラクターを活用したLINEスタンプ



社員食堂のメニュー開発



SDGsの視点から、IKEA新三郷店の社員食堂のメニュー開発に取り組み、地元の小松菜も加えた野菜たっぷりの「大人様ランチ」を開発しました。

商業系の「流通経済科」では、マーケティングの知識を活かし、市内の飲食店や越谷市農業技術センター等と協働で商品開発や越谷いちごPRキャラクター「ストロングベリー」ちゃんのLINEスタンプの開発に取り組みました。